

目次

3 編集方針／CSR情報の報告媒体について

4 トップメッセージ

特集

6 想いをカタチに Through and Through Nikkeikin

8 いつでも安心して飲める水を届けたい

10 コールドチェーンで食品ロスを減らしたい

12 新しいリサイクルのカタチで地球の温暖化を止めたい

14 安全で安心なインフラを未来に残したい

本編

16 地球環境と共生し持続可能な社会の実現を目指します

18 タイ王国における環境保全の取り組み

20 共生社会の実現に向けて

22 日軽金グループは、働くママを応援します

23 “完全ゼロ災害”の達成に向けて

24 品質を守り育てるためのたゆまない歩み

26 地域における人材育成の取り組み

27 信頼されるガバナンスとグループ連携をめざして

29 「チーム日軽金」のコミュニケーションをより活発に!

30 会社概要／グローバルネットワーク

31 事業概要

32 第三者意見

33 第三者保証報告書

34 データ編

編集方針

はじめに

「日本軽金属グループCSR報告書2018」は日軽金グループのCSRに関する考え方や取り組みについて、ステークホルダーの皆さまにわかりやすく報告し、ご理解いただくことを目指しています。

日軽金グループは、ISO26000の中核主題をベースにした社会課題を認識し、また近年の潮流であるESG投資の高まりやSDGsなどの国際的取組を意識し、その解決に貢献できるよう、CSRに関する取組を推進しています。それぞれの課題に対する取組をご覧いただき、ご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。

参考ガイドライン

本報告書は、「環境報告ガイドライン(2012年版) (環境省)および「GRI(Global Reporting Initiative)スタンダード」を参考に作成しています。

対象期間

本報告書のデータ集計期間は2017年4月～2018年3月です。
※一部、これ以前のデータおよび以後のデータを含みます。

対象範囲

特に指定しない場合は、日本軽金属ホールディングス(株)および連結対象子会社76社 計77社

発行時期

2018年8月(次回:2019年8月予定、前回:2017年8月)

第三者保証の該当箇所

記載情報の信頼性を保証するために、KPMGあずさサステナビリティ(株)による第三者保証を実施しており、該当箇所に★で表示しています。

CSR情報の報告媒体について

本報告書は、2017年度におけるCSRの取組について報告しています。より詳細な内容、過去の取組、財務情報などにつきましては、WEBサイトをご覧ください。

非財務情報

●CSR報告書
(冊子・PDF)

●WEBサイト

<http://www.nikkeikinholdings.co.jp/csr/>
<http://www.nikkeikinholdings.com/csr/> (English)



財務情報

●WEBサイト

<http://www.nikkeikinholdings.co.jp/ir/ir-data/>

●Annual Report

●Fact Book

●株主通信



持続的発展への取組について

日軽金グループは、昨年の報告書を通じてSDGsに取り組むことを、表明しました。

SDGs視点での日軽金グループのCSR活動の把握と評価を行い、取り組むべき項目とすでに取り組んでいる項目の検討を加速させています。2017年度は、CSR委員会での討議(2回)や社内報での啓発活動(3回)を行い、さらにCSR関連部門の会議(毎月開催)でも活発な討議を行っています。また、事業領域での取組については、本報告書の「特集」ページに記載しています。



CSR委員会の様子



社内報で連載しているSDGs啓発企画ページ(抜粋)